

1. 外国籍生徒の話した時間：5分28秒 / 10分
2. 話しかけるまでの時間：始まってすぐ
3. 話題：検証中（10分間）に外国籍生徒と日本国籍生徒の間で行われた会話の内容
 - 外国籍生徒の出身地について（行ったことがあるか・どんな場所なのか）
 - 英語がどの程度話せるか
 - 言語習得について（母国語・日本語・英語の難しさ・出身国による習得方法の違い）
 - どの国に行ってみたいか
 - アニメについて（お気に入りや見たことがあるアニメ・感想・お互いの国での反応）
 - 音楽について（よく聞く音楽のジャンル）
4. 外国籍生徒へのアンケート結果
 - A) 感想

言語の違いがコミュニケーションにおいて良い方にも悪い方にも影響を与える事を見ることができる興味深い実験だと思いました。
 - B) 日本国籍生徒とスムーズに会話することはできたか

はい、彼女らが知っていることはすべて理解できました。
 - C) なぜそう思うのか

全員が流暢な英語を話せたために、コミュニケーションをより一層簡単にできたと思います。
 - D) 日本国籍生徒の印象

みんな私に対してとても優しく接してくれ、私や私の好きな事へ興味を持ってくれました。
 - E) どうしたらこの機会をもっと楽しめたと思いますか？

生徒役の方々のおかげもあって私はこの実験をとても楽しめたので、私が改善したいところはないです。
 - F) 日本国籍生徒と会話する際に障壁だと感じたこと

英語のアクセントだと思います（自分の）
 - G) 違う言語を話す人と会話するとき大切に思うこと

簡単な言葉でコミュニケーションを始める事で、その言語（英語）をどれだけ知っているかを見ることができるし、そんなに英語が出来なくても簡単な会話ができるから。
5. 日本国籍生徒へのアンケート結果
 - A) 感想

- ・結構話せてたのでよかった。気まずい間があったけど良かった。
- ・知らない人と話せてよかったです。
- ・あまり話せなかったけど周りの人が話を振ってくれてよかった。周りの人達が結構積極的に喋ってくれたので楽しく過ごせました。

6. 観察

言語レベルの差が小さくても、積極的な性格かどうかで発言が多い人と少ない人の差が出ていた。一般的にグループ内で発言する人が固定されてくると他の人が発言しづらくなると考えられるが、今回は積極的な性格の人が話題を提供していたためグループ内の雰囲気はよく見えた。外国籍生徒に話しかけるだけでなく、会話の後半は日本人同士でも会話が広がっていたため、その場にいる全員が楽しめていたように見受けられた。